

新しい「高齢社会対策大綱」(案)の5つのポイント

資料2

全員参加による社会の構築

高齢者の多様な雇用・就業ニーズに応じた柔軟な働き方ができる環境整備を図るとともに、高齢者が生きがいや自己実現を図ることができるよう、「新しい公共」を推進し、高齢者の「居場所」と「出番」をつくることにより、年齢にかかわらず意欲と能力を最大限発揮し、経済社会の重要な支え手として、働くことや社会参加することができる社会の構築を目指す。また、高齢者のみならず、若年者や女性の能力を積極的に活用することなどにより、全ての世代が積極的に参画する社会の構築を推進する。

「人生90年時代」に対応できる社会の構築

「人生90年時代」を前提とした高齢期への備えとして、若年期からの健康管理や資産形成のみならず、職業能力の形成や社会参加を行うことを促進するとともに、仕事時間と育児や介護等の生活時間のバランスのとれた組み合わせが選択できる仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を図る。また、雇用が不安定で、かつ職業能力の形成や相対的に低賃金であるなど資産形成が困難である非正規雇用の労働者に対しては、雇用の安定や処遇の改善に向けて、社会全体で取り組み、「人生90年時代」に対応できる社会の構築を推進する。

世代循環型社会の構築

意欲と能力のある高齢者がその知識と経験をいかして、就労や世代間交流等を通じた社会参加を通じて経済社会の重要な支え手、担い手として活躍することができる社会の構築を目指す。また、良質な住宅ストックの形成や中古住宅流通・リフォーム市場の環境整備を進めるとともに、子育て世帯等向けの賃貸住宅として活用するための住み替えを支援すること等を通じて、高齢期の経済的自立に資するとともに、資産が次世代へと継承される、世代循環型社会の構築を推進する。

住民により支え合う地域社会の構築

「医職住」の近接した集約型のまちづくりにあわせて、地域におけるつながりが希薄化している中で、高齢者の社会的な孤立を防止するために、地域住民が参加主体となって要援護者に係る安否確認等を行う地域のコミュニティの構築を図る。また、地域住民が可能な限り、住み慣れた地域で自立した生活を維持できるようにするとともに、医療や介護サービス等を継続的・一体的に受けることのできる体制の実現を図ることができる、住民による支え合う地域社会の構築を推進する。

高齢者向け市場の活性化により安心して快適に生活できる社会の構築

高齢者が健康で活躍しやすい環境づくりのために、高齢者に優しく、ニーズに合致した機器やサービスの開発を支援することで、高齢者向け市場を活性化させ、高齢者の消費を高めるとともに、高齢化に伴う課題の解決に大きく寄与する研究開発等を通じて、高齢者が生活の質を保ち、安心して快適で豊かな暮らしを送ることができる社会の構築を推進する。